

英語 出題意図

出題のねらい

試験問題は、ここ数年の傾向と同じく、大学の授業を受けるために必要な基本的な英語力が備わっているかどうかを試す問題になっています。2025 年度から新たに発音を問う問題が出題されましたが、それ以外は出題形式も 2024 年度とほぼ同様です。

大問Ⅰの長文問題は、文章の流れに沿って全文の大意を読み取ることが求められます。社会問題や身近な話題についての文章ですが、特に文章の論理のなりゆきに注意を払って、内容を確実に把握することが大切です。

大問Ⅱは短文中の語句の意味を正しく理解しているか、そのうえで別の表現に言い換える知識と能力が備わっているかを問う問題です。ふだんから 1 つの表現だけでなく、類語辞典などを利用して同義の表現も一緒に覚えているか、言い換える知識と能力があるかが問われます。

大問Ⅲは 2025 年度より新たに加わった発音問題です。基本的な英単語の発音が身についているかを確認する問題です。

大問Ⅳは会話問題で、身近な話題についての会話の状況と内容を理解できるかを問います。会話自体はそれほど難しくはなく、日常的にありうるものなので、会話の流れを適切に把握することが重要です。

大問Ⅴは短文の空所補充問題です。基本的な文法力と語彙力を問う問題です。

大問Ⅵは語句を並べ替えて文法的な英文を作る語句整序問題です。基本的な文法の知識が求められます。

以上、出題形式とねらいを述べました。出題分量と難易度は例年と同程度になっています。

受験生へのアドバイス

英文の読解力と文法力を強化するには、ふだんから英文を読むようにす

ると効果的です。できれば多読が望ましいですが、短いものでもよいので、英文の音読やシャドーイングをする機会を増やすことで、長文に対する抵抗も減り、文章を短時間で理解できるようになるうえ、さまざまな表現や正しい発音も身につきます。そのほか、日常的に多様なメディア（新聞・テレビ・ラジオ・インターネット・映画・ドラマなど）を通して、生きた英語に触れる機会をもち、会話表現に慣れておくことで、受験だけでなく、将来的に留学や研修などで役立つ英語力を身につけることができます。また、わからない表現や初めて目にする表現は、丁寧に辞書で調べて、意味だけでなく正しい使い方を確実に理解しておくことが重要です。